

これからの千葉市のまちづくり ～2021年度の主な取組み～



2021年8月
市長と語ろう会
(オンライン)

目 次

新しいまちづくりの基本計画（案）	1
2021年度予算編成 2021年度主な取組み	1 1
2021年度予算編成の基本的な考え方	1 2
予算規模	1 3
2021年度当初予算の主な施策	1 4
2021年度補正予算の主な施策	3 4
ワクチン接種の状況	3 8
主な財政指標	3 9

千葉県基本計画

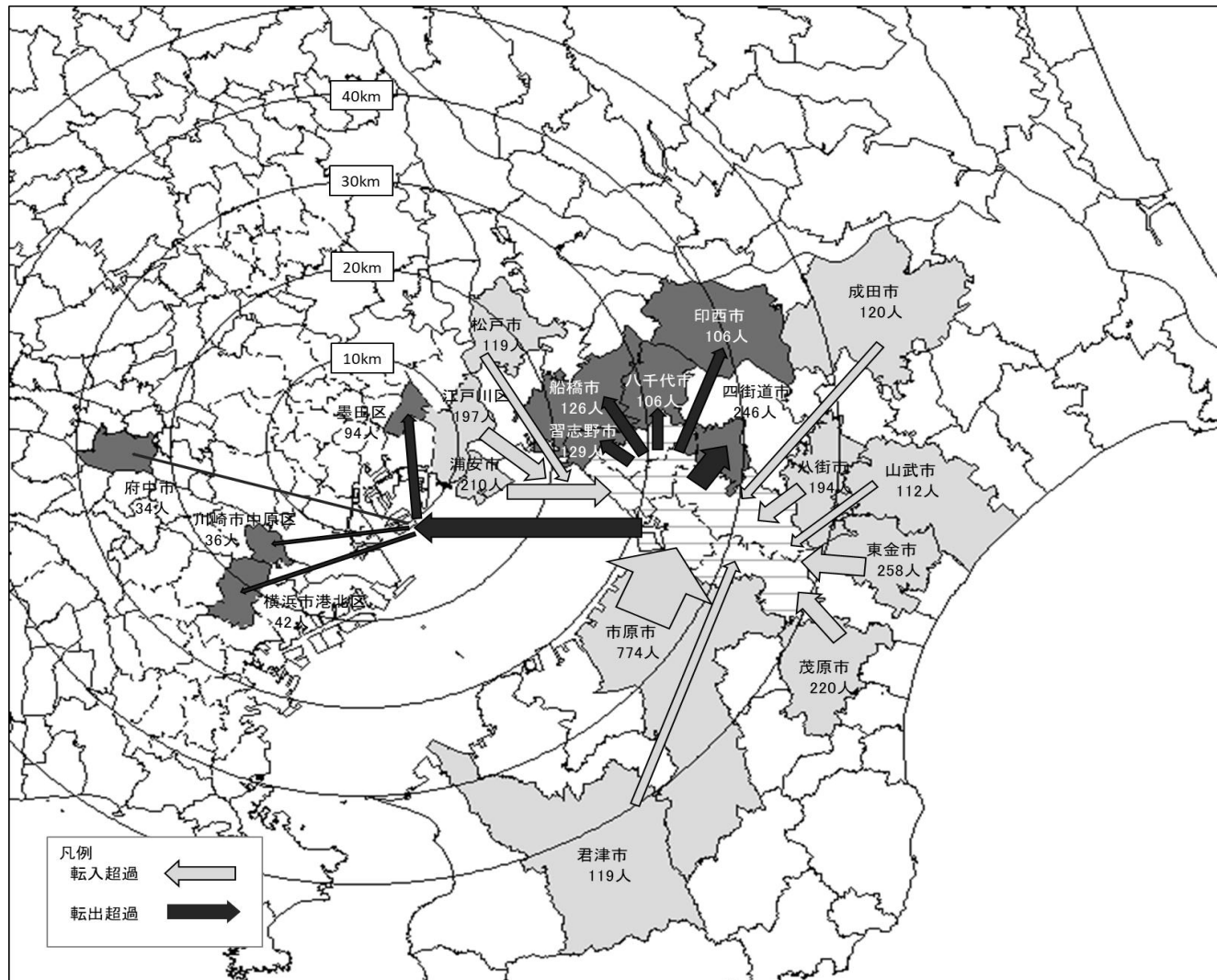
新しいまちづくりの基本計画 (案)



現在の千葉市を取り巻く状況①（転出入）

▶ 本市への転入は県内中心で、主に本市以東、以南の都市からの転入が多い

主な転入超過・転出超過の状況



◆主な転入超過

市原市	+774人
東金市	+258人
茂原市	+220人
浦安市	+210人
江戸川区	+197人
八街市	+194人

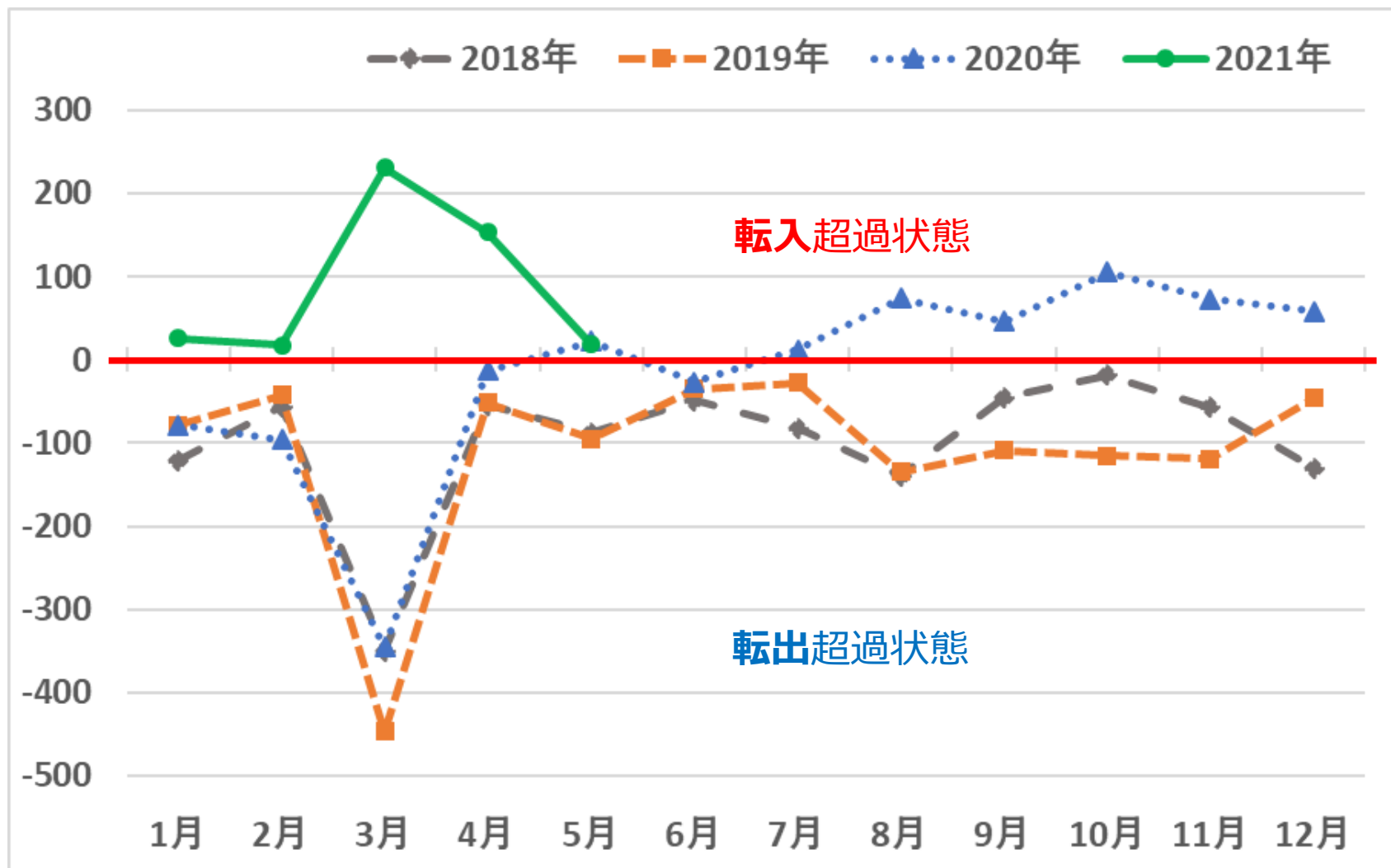
◆主な転出超過

四街道市	▲246人
習志野市	▲129人
船橋市	▲126人
八千代市	▲106人
印西市	▲106人
墨田区	▲94人
横浜市港北区	▲42人

資料：令和2年(2020年)住民基本台帳移動報告（総務省）

現在の千葉市を取り巻く状況②（東京都との転出入）

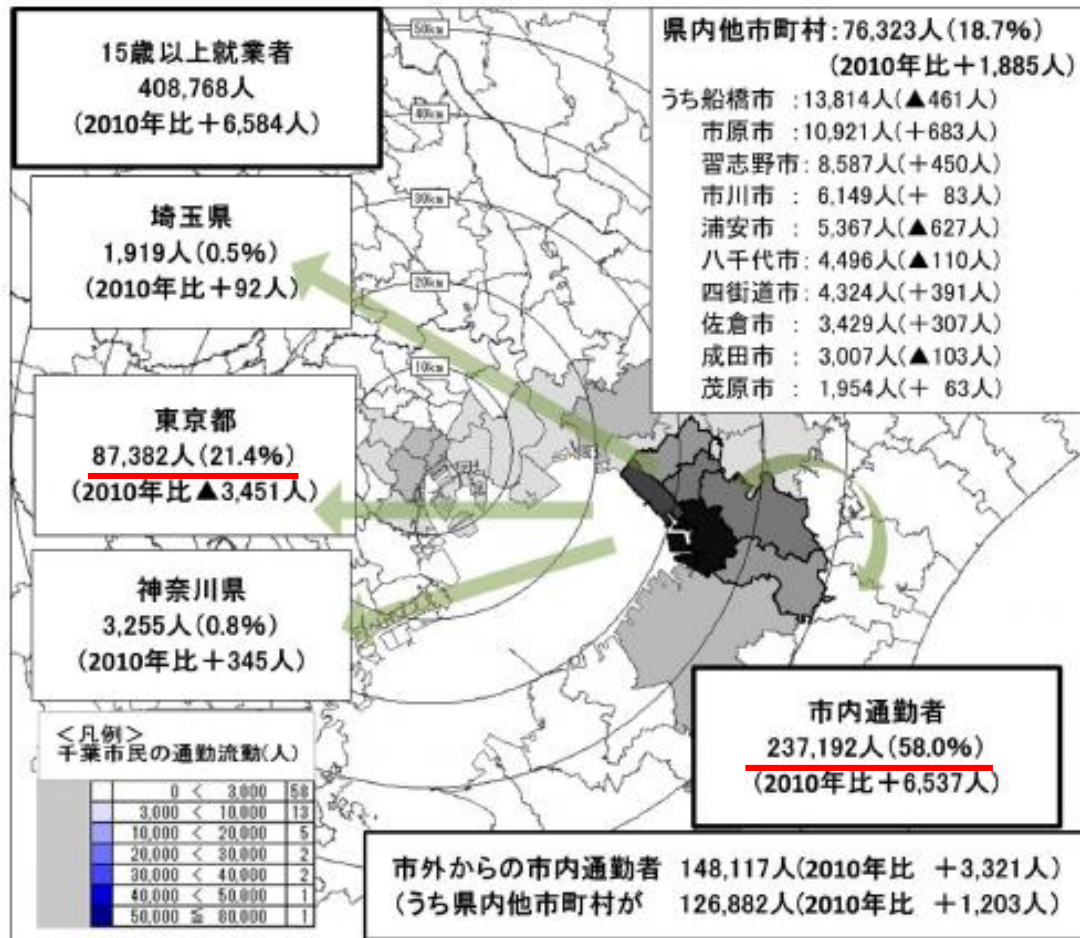
- 新型コロナウイルス感染症の拡大は、本市と東京都の人口移動に影響を与えており、2020年中の東京都への転出超過数は、前年より大幅に減少した。
- これまで一貫して転出超過であった傾向に変化が生じつつあり、引き続き動向を注視していく必要がある。



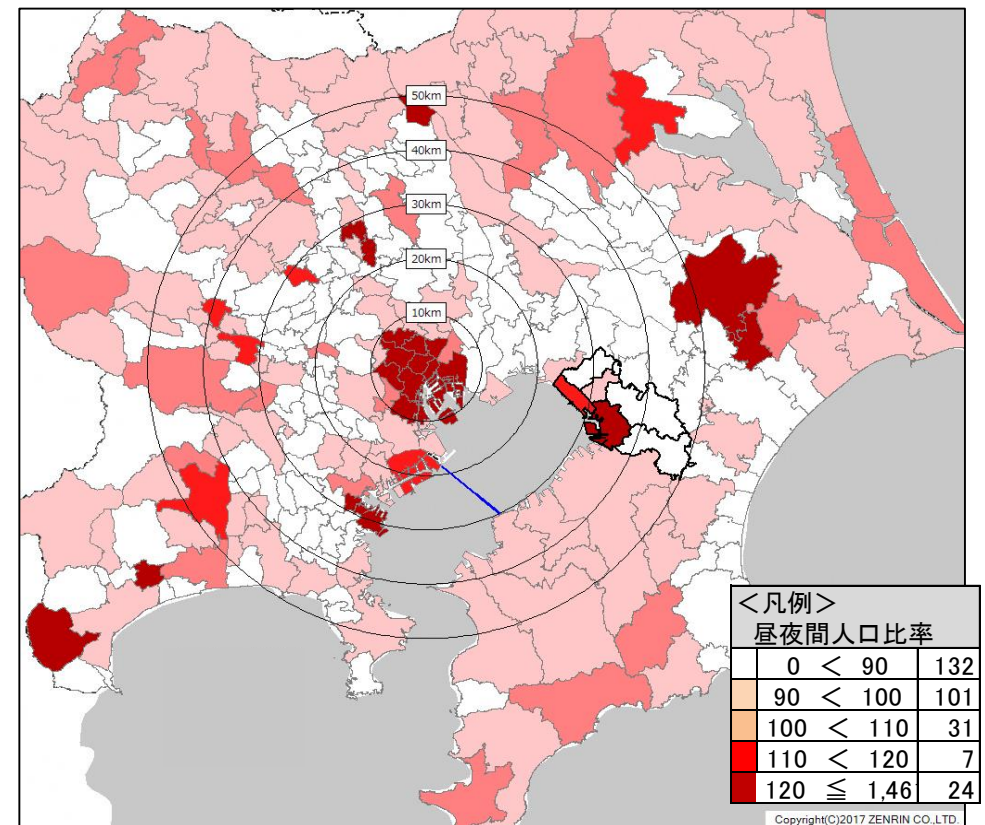
現在の千葉市を取り巻く状況（人の流れ）

- 市民の通勤先は、**市内が58.0%**と過半数を超える一方、**東京都は21.4%**にとどまる
- 市外からの通勤者は、県内近隣市が中心（市原市、船橋市、四街道市、習志野市など）
- 昼夜間人口比率は、中央区(123.7%)、美浜区(116.3%)を中心に広域的な雇用の場を提供しており、**市全体では97.9%**と首都圏政令市で最も高い

千葉市からの通勤流動（H22-H27）



東京圏の昼夜間人口比率(H27)



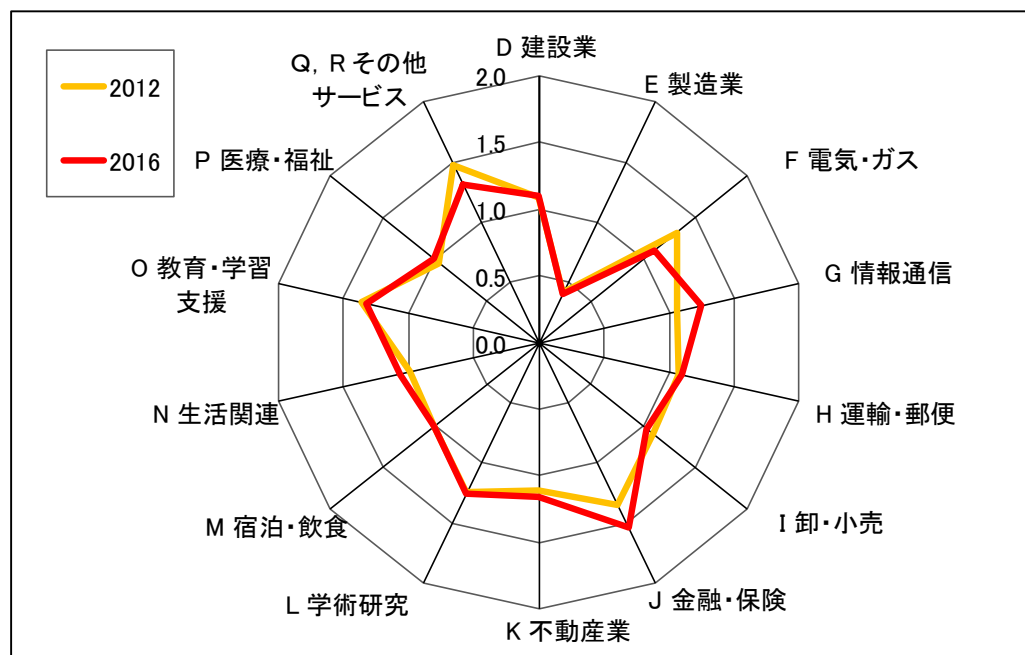
資料：平成27年（2015年）国勢調査（総務省）

資料：平成22,27年（2010、2015年）国勢調査（総務省）

現在の千葉市を取り巻く状況（産業）

- 第3次産業の比重が高く、産業構造は概ね全体的なバランスが取れている
- 本市の経済発展を支えてきた鉄鋼が、域外から稼ぎ域内産業へ大きな経済波及効果をもたらしている
- 鉄鋼の他、情報通信業や飲食料品等を中心とした多様な産業の育成・集積を図り、域外収入を稼ぐ手段の多様化を図ることが必要

産業大分類別従業者数の特化係数



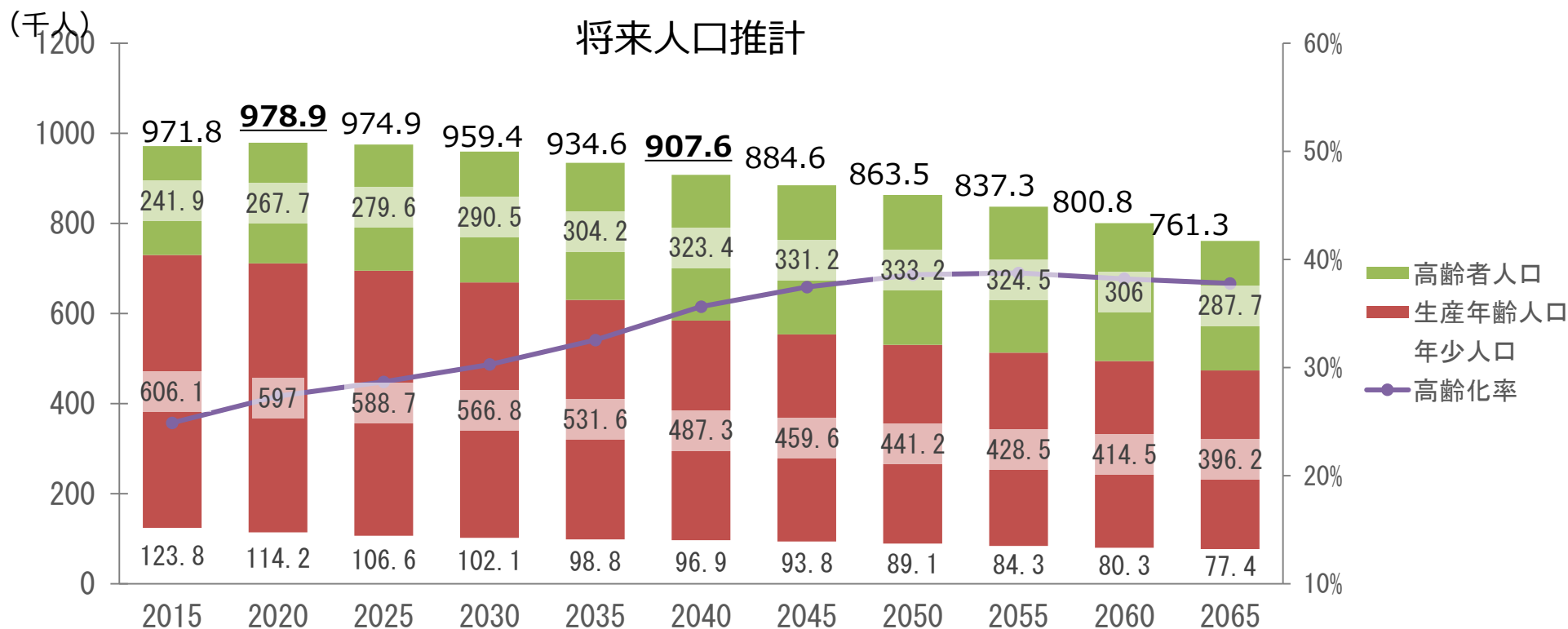
特化係数

地域の産業の国内における強みを表したものの

資料：（出典）平成24、28年（2012、2016年）経済センサス-活動調査（経済産業省）

2040年を展望した社会変化

- 総人口は2020年（979千人）をピークに減少（2040年は2020年比▲71千人）
- 年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15-64歳）は継続的に減少。
- 高齢者人口（65歳以上）は継続的に増加し、2040年までに55千人増（ピーク：2050年）



資料：千葉市作成

- ✓ 人口密度の維持、空き家・空地の有効活用、公共施設・インフラの適切な維持管理等
- ✓ 多様な人材が活躍できる環境づくり、テクノロジーの活用による生産性向上・働き方改革
- ✓ 年齢にかかわらず健康で活躍できる環境づくり
- ✓ 安心して出産・子育てできる環境の充実

現状分析のまとめ

(1) 千葉市は、圏域の
中心都市・拠点都市

(2) 千葉市の外側では、
既に人口減少が始まっている

(3) このままでは、周辺エリア全体の活力が低下するおそれ

● 千葉市が果たすべき役割

- 東京への人口流出を食い止める、「人口のダム」機能を発揮
- “ちば”でしかできないライフスタイルを提示、圏域全体の人口を維持・増加
- 産業の「稼ぐ力」を育成、商業の中心、就業の場としての機能を発揮し、圏域経済をけん引

都市経営の3方針

- I 自立した“ちば”共創都市圏を支え、活力の中心となる都市へ
- II 産業と経済、地域社会の活性化を推し進め、魅力あふれる都市へ
- III 人口減少・少子超高齢社会を見据えた、成熟都市へ

みんなで目指す未来の千葉市

みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし

10年後に実現すべき千葉市の姿

- 本市の特性である「自然」、「利便性・ゆとり」、「拠点性・交流」を活かし、都市の活力と自然の潤いが織りなす、新たな価値が生まれるまち
- 本市に住まい、活動する人々が、一人ひとりの個性を活かし自分らしく活躍できるとともに、多様な主体がつながり連携することで、未来に向けて輝き続けるまち
- このようなまちの実現に向けて、めざすべき10年後の本市の姿を「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし」と定め、みんなが共有し、ともにまちづくりを進めるための指針とする

未来のまちづくりに向けた戦略的視点

限られた資源の選択と集中による分野横断的かつ重点的に取り組む4つの戦略的視点

戦略1 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- 縄文から受け継ぐ「自然と共生する」精神を活かした、SDGs達成に向けた取り組みの推進
- みんなの力を活かした災害に強いまちづくり

戦略2 ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- 職住近接を活かしたゆとりある暮らしづくり
- テクノロジーを活用したスマートシティの推進
- 成熟社会を豊かにする次代を担うひとづくりと文化・スポーツのまちづくりの推進

戦略3 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり

- 市民一人ひとりが属性にかかわらず自分らしく活躍できる地域社会づくりの推進
- 「誰ひとり取り残さない」セーフティネットの構築
- 市民の懐の深さとオリンピック・パラリンピックのレガシーを活かした共生社会づくりの推進

戦略4 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- 挑戦都市としての矜持を持ち、次の時代のトレンドを創出
- 雇用・商業・観光の拠点として、圏域の中心的な役割を果たすまちづくり
- 地域特性を活かした広域連携の推進

目指すべき区の姿（全体像）

花見川区

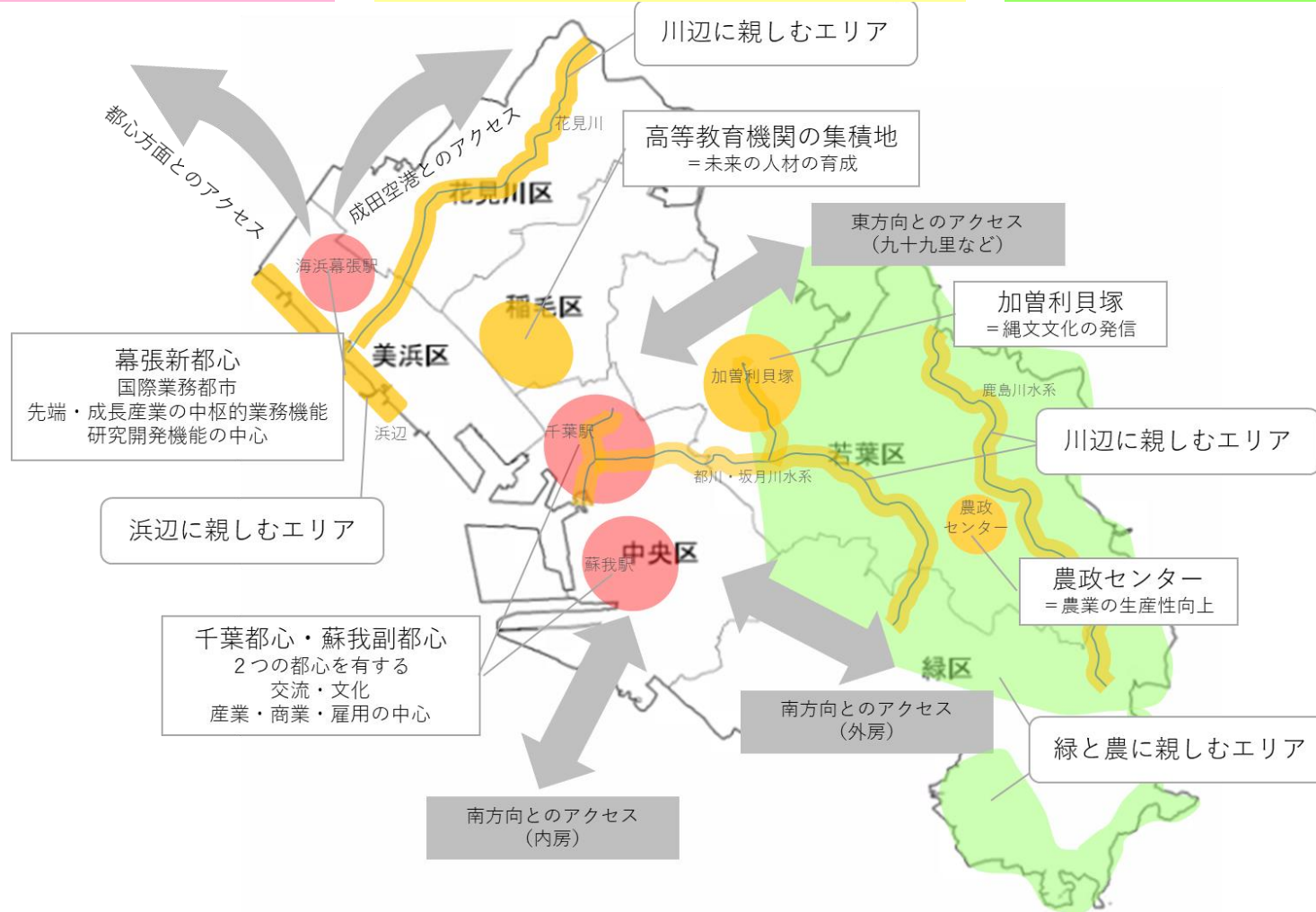
川と緑と花々に包まれた、
安らぎと潤いのまち

稲毛区

まなびと創造が脈打つ
文教のまち

若葉区

共生の原点 縄文が息づく
自然の恵み豊かなまち



美浜区

海辺を楽しみ、
世界とつながるまち

中央区

人が行き交い
にぎわいと文化を生み出すまち

緑区

田園と調和する
広やかで快適なまち

目指すべき区の姿（取組みの方向性）

6つの区の特徴を最大限活かすことにより、魅力と活力ある区づくりを推進

中央区

人が行き交い
にぎわいと文化を生み出すまち

- ・ 県内随一の拠点性を活かし、広域的な地域活性化に向けた役割を果たす
- ・ 多様な都市機能の集積による更なる交流・賑わいの創出
- ・ 文化施設の集積を活かし、文化を創造し、担い手を育成

花見川区

川と緑と花々に包まれた、
安らぎと潤いのまち

- ・ 河川や花々など、自然に触れ合える安らぎと潤いある生活
- ・ 河川を軸とする地域資源のネットワーク化による都市近郊型アウトドアの提供
- ・ 高速道路へのアクセスを活かした産業集積

稲毛区

まなびと創造が脈打つ
文教のまち

- ・ 充実した居住・教育環境を生かした文教のまちの確立
- ・ 教育機関の集積を活かした産学官連携による多様な人材を育成・輩出する人材育成拠点

若葉区

共生の原点 縄文が息づく
自然の恵み豊かなまち

- ・ 農業が盛んである地域特性を活かした農業の振興
- ・ 加曽利貝塚を活用し、自然と共生する精神を継承
- ・ 内陸部の地域資源を活かした都市・農村交流の推進

緑区

田園と調和する
広やかで快適なまち

- ・ 豊かな自然を活かした、自然と都市機能が調和したまち
- ・ ゆとりある空間を活かし、新たな職住近接のライフスタイルの実現
- ・ 昭和の森等の資源を活かしたバランスの取れたまち

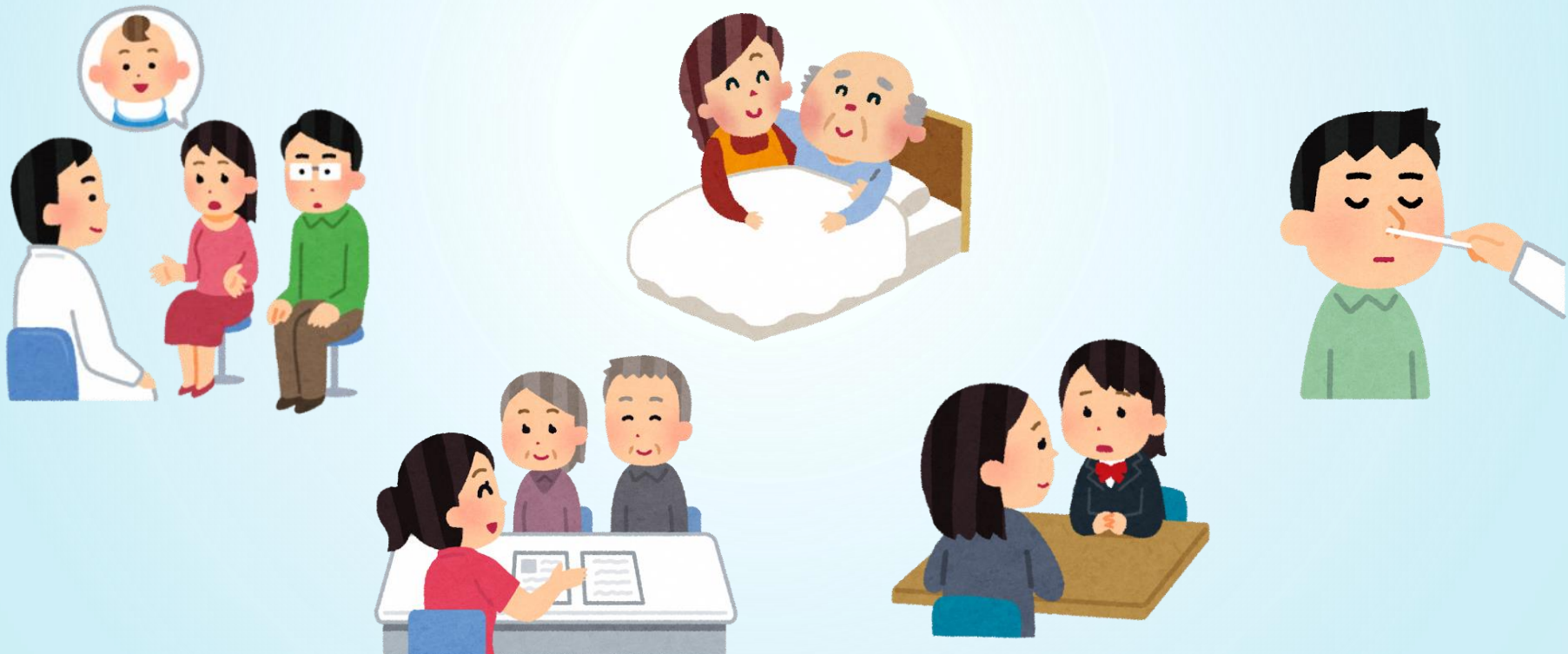
美浜区

海辺を楽しみ、
世界とつながるまち

- ・ 都内からのアクセス性を活かした魅力あるアーバンビーチの確立
- ・ 多様性を活かしたインクルーシブなまちの実現
- ・ 幕張新都心を核とした未来技術の実装、新しい価値の創造

2021年度予算編成

2021年度の主な取組み



2021年度予算編成の基本的な考え方

準骨格予算の編成

- ・当初予算では、新たな政策的判断を要する事業を留保しつつ、新型コロナウイルス感染症対策など、継続的に取り組む内容を中心とした「準骨格予算」を編成。
- ・政策的判断を要する事業については、補正予算で追加。

重点施策の推進

- ① 市民生活の向上や本市の発展につながる施策について、事業費の精査を行ったうえで、着実に推進。
 - 医療・介護・福祉
 - 子育て・教育
 - 災害に強いまちづくり・都市づくり・地域経済活性化
 - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組み
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止対策を徹底するとともに、新しい未来を見据えた社会変革にも的確に対応しつつ、地域経済の回復を図るための取組みを推進。

財政健全化の推進

- ・主要債務総額は、第3期財政健全化プランの目標範囲内に収まる見込み。
- ・新型コロナウイルスの影響による大幅な税収減が見込まれる中、更なる感染症への対策に必要な一定の財源を確保。

予算規模

予算規模

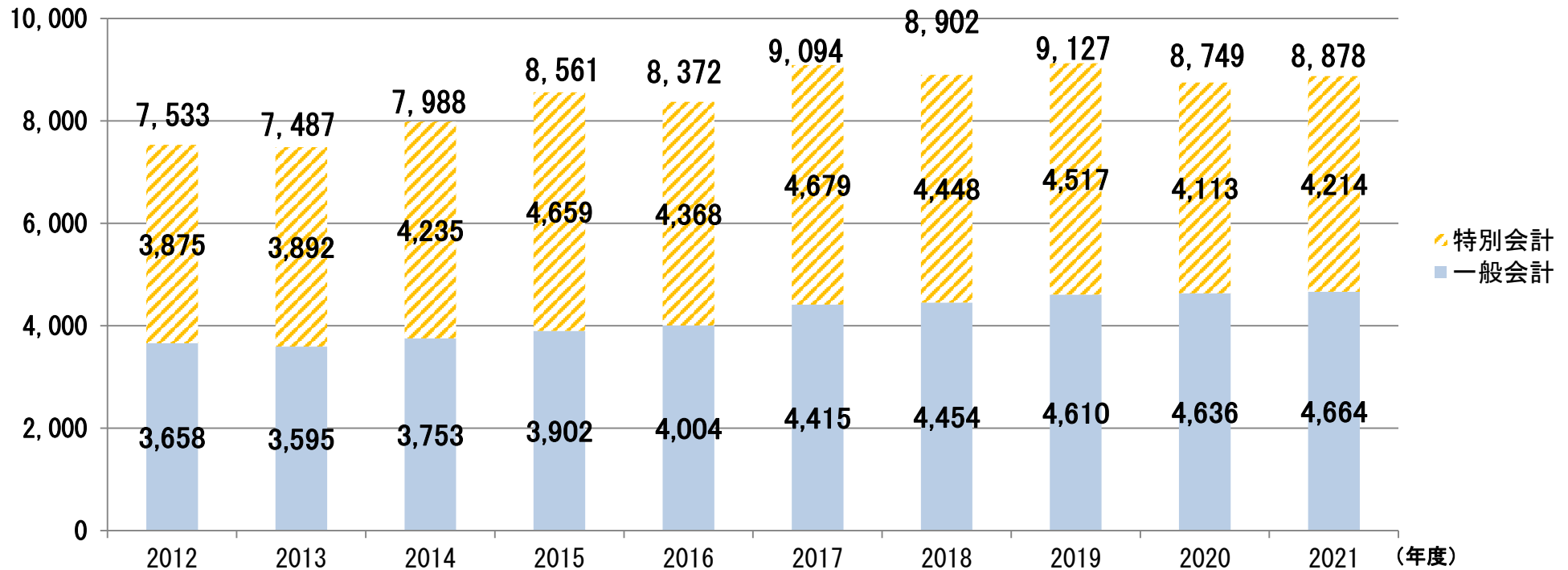
当初予算総額	8,878億200万円	(対前年度比	129億900万円増	1.5%増)
一般会計	4,664億円	(対前年度比	28億円増	0.6%増)
〔新型コロナウイルス感染症対策経費を除く〕				
	4,630億4,900万円	(対前年度比	5億5,100万円減	0.1%減)
特別会計	4,214億200万円	(対前年度比	101億900万円増	2.5%増)

この他、2021年3月～6月にかけて補正予算を編成

一般会計 78億9,800万円 特別会計 1億4,000万円

単位：億円

当初予算規模の推移（2012～2021年度）



2021年度当初予算の主な施策（全体像）

① 医療・介護・福祉

妊娠・出産・新生児支援
地域包括ケアシステムの構築・強化
セーフティーネット・地域福祉 など

② 子育て・教育

教育環境の充実
児童生徒の支援の充実
待機児童対策 など

③ 災害に強いまちづくり

地域防災力の向上
災害時の安全・安心の確保
土砂災害・冠水等対策の強化 など

④ 都市づくり・地域経済活性化

千葉駅周辺の活性化
幕張新都心の整備
都市の魅力・活力づくり など

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組み

大会の成功実現・スポーツ文化の普及と発展・共生社会の実現 など

新型コロナウイルス感染症への対応

感染者等への対応・感染拡大防止対策・市民生活の支援 など

2021年度当初予算の主な施策

～医療・介護・福祉①～

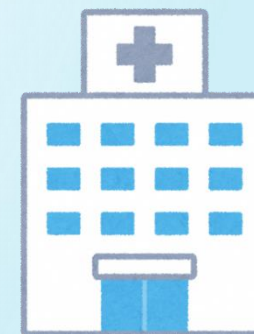
妊娠・出産・新生児支援

- 【拡充】特定不妊治療費助成(予算額 2億8,000万円)
特定不妊治療の所得制限を撤廃するほか、助成額、助成回数等を拡充
(採卵を伴う治療 15万円→30万円 ほか)
- 【拡充】妊婦健康診査支援(予算額 6億5,600万円)
多胎妊娠の健康診査費用の助成回数を拡充
(14回→最大5回分を追加)
- 【新規】新生児聴覚検査費用助成(予算額 1,600万円)
新生児の聴覚検査に要する費用を助成



医療・健康づくり

- 【拡充】集団がん検診への時間予約制の導入(予算額 1,200万円)
受診者の利便性向上を図るため、集団がん検診に時間予約制を導入
- 新病院整備(予算額 2億円)
海浜病院に代わる新病院の整備に向けて基本計画及び基本設計を実施



2021年度当初予算の主な施策

～医療・介護・福祉②～

地域包括ケアシステムの構築・強化

- 【拡充】生活支援コーディネーターの配置強化(予算額 1億5,900万円)
あんしんケアセンター単位の配置を拡充(19センター(4区)→28センター(全区))
- 【新規】介護ロボット・ICT導入支援(予算額 4,200万円)
介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボットやICT設備の導入費用を助成



セーフティネット・地域福祉

- 【拡充】生活困窮者自立相談支援(予算額 1億6,900万円)
生活困窮者の自立、就労等を支援する「生活自立・仕事相談センター」を増設(中央区、花見川区、稲毛区、若葉区→新たに緑区に開設)
- 【拡充】コミュニティソーシャルワーカーの配置強化(予算額 8,700万円)
コミュニティソーシャルワーク機能を強化するため、コミュニティソーシャルワーカーを増員(8人→10人)

2021年度当初予算の主な施策

～子育て・教育①～

教育環境の充実

- 【拡充】小学校における専科指導のための講師の配置(予算額 2億3,100万円)
専門性の高い指導を行う小学校の非常勤講師を増員(60人→84人)

- 教育スタッフの充実
 - ・【拡充】ICT支援員配置(予算額 3億2,700万円)(2校→165校)
 - ・【拡充】中学校等英語外国語指導助手の派遣(予算額 1億1,100万円)(19人→29人)
 - ・【拡充】スクール・サポート・スタッフの配置(予算額 2億9,200万円)(中18人→全市立校228人)

- 特別支援学校スクールバス増便(予算額 4,700万円)
新型コロナウイルス感染症対策として、市立養護学校の
スクールバスを増便(5台→7台)

- 学校施設の環境整備(予算額 20億5,900万円)【一部2月補正対応】
学校施設の計画保全及び機能改善を実施
(大規模改造、屋上防水改修、トイレ改修、耐震改修等)



2021年度当初予算の主な施策

～子育て・教育②～

児童生徒の支援の充実

- 【拡充】スクールカウンセラー活用(予算額 1億7,900万円)
いじめや不登校等に対応するカウンセラーの配置体制を充実
(小学校大規模校等(44校) 140時間/校→148時間/校)
(小学校通常校(64校) 105時間/校→111時間/校)
(特別支援学校(3校) 105時間/校→120時間/校)



- 【新規】子どもへの性犯罪・性暴力初期対応研修(予算額 40万円)
性犯罪・性暴力被害を受けた児童生徒への対応力を高めるための教職員向け研修を実施

- 【新規】日本語指導通級教室通所費助成(予算額 50万円)
外国人生徒(準要保護)に対し、通級にかかる交通費を新たに助成



- 【拡充】生活保護世帯等に対する学習支援(予算額 5,900万円)
高等学校等進学に必要な基礎学力の向上を図るための
学習支援について、定員を拡充(240人→280人)

2021年度当初予算の主な施策

～子育て・教育③～

待機児童対策

- 【拡充】民間保育園等整備(予算額 6億7,700万円)
待機児童ゼロを継続するため、民間保育園の整備や幼稚園の認定こども園への移行支援等を実施
(整備:31か所、総定員数(予定) 2021年4月:19,028人 → 2022年4月:19,778人(750人増))
- 【拡充】子どもルームの整備・環境改善(予算額 5億4,100万円)
待機児童解消に向けた整備
(2022年度開所 施設整備:8か所 受入枠+450人、2023年度開所 実施設計:2か所 受入枠+240人)
- 【拡充】アフタースクール運営(予算額 5億4,800万円)(債務負担行為 12億500万円)
放課後子ども教室と子どもルームを一体的に運営
(2020年度:12校→2021年度:18校→2022年度:24校)
- 【拡充】放課後児童健全育成事業補助(予算額 1億2,100万円)
民間事業者による子どもルームの運営経費に対し助成
(2020年度:11事業者→2021年度:14事業者)



2021年度当初予算の主な施策

～子育て・教育④～

支援を必要とする子ども・家庭などへの支援

- 【拡充】子どもの貧困対策総合コーディネート（予算額 2,400万円）
生活自立・仕事相談センターと連携して、貧困家庭等の包括的な支援を行う
「子どもナビゲーター」の配置を拡充
（中央区、稲毛区、若葉区→新たに花見川区に配置）

- 【拡充】養育費に関する支援（予算額 300万円）
ひとり親家庭に対して、養育費の相談から取決め・履行の確保までを包括的に支援
（新設：養育費に関する講習会、調停等費用助成、公正証書作成手数料助成）

- 医療的ケア児支援
 - ・【新規】居宅訪問型保育（予算額 900万円）
医療的ケアを必要とする、集団保育が困難な3歳未満児童の居宅訪問保育を実施
 - ・【拡充】医療的ケア児受入体制整備（予算額 1,700万円）
公立保育所における医療的ケアを行う看護師を増員
（2020年度：2か所→2021年度：4か所）

2021年度当初予算の主な施策

～災害に強いまちづくり①～

地域防災力の向上

- 【新規】災害時要配慮者個別支援計画作成促進(モデル事業)(予算額 300万円)
ケアマネジャーと連携した要配慮者の災害時個別支援計画作成事業をモデル的に実施
- 【拡充】集会所建設等事業補助(予算額 3,900万円)
町内自治会集会所を新築・建替等に要する費用の助成について、災害時の分散避難先として活用する場合の補助額を加算
(補助上限額:従前の800万円に加えて400万円)
- 【拡充】耐震診断・改修助成(予算額 3,700万円)
住宅の耐震化を促進するため、助成制度を拡充

分譲マンション耐震改修等助成
補助率 設計費:1/2→2/3、工事費:15.2%→1/3
木造・非木造住宅除却費助成を新設



2021年度当初予算の主な施策

～災害に強いまちづくり②～

災害時の安全・安心の確保

- 総合防災情報システムの構築(債務負担行為 5億円)
災害発生時の迅速な情報収集・発信を行うとともに、被害情報・対応結果等を一元的に管理する総合防災情報システムを構築
- 【新規】防災行政無線(同報系)コミュニティFM連携システム整備(予算額 600万円)
防災行政無線で発信する緊急放送を、FMラジオ上でも放送可能とするシステムを整備

土砂災害・冠水等対策の強化

- 雨水貯留槽設置(予算額 14億6,800万円)【一部2月補正対応】
浸水被害を軽減するため雨水貯留槽を新設(宮崎、みつわ台)
- 公共下水道管渠等布設(雨水)(予算額 14億7,800万円)【一部2月補正対応】
雨水対策重点地区の浸水対策を強化するとともに、浸水被害発生箇所への雨水管布設等を実施(重点地区:都町、弁天)

2021年度当初予算の主な施策

～都市づくり・地域経済活性化①～

千葉駅周辺の活性化

○千葉駅東口地区市街地再開発(予算額 3億6,500万円)(2022年度竣工見込)

○千葉公園の再整備(予算額 1億1,000万円)
千葉公園再整備マスタープランに基づき、整備を推進
(2021年度:道路擁壁工事等)



○(仮称)千葉公園体育館の整備(予算額 26億7,900万円)
現千葉公園体育館、武道館、中央コミュニティセンターのスポーツ施設を集約し、
競輪場跡地に新体育館を整備(2021年度:本体工事、擁壁工事、2022年度中供用開始予定)

○中央公園・通町公園の連結強化(予算額 4億1,100万円)(債務負担行為 5億6,100万円)
中央公園との連続的な空間形成を成すため、通町公園の再整備を推進
(2021年度:用地取得、建物移転補償等)

2021年度当初予算の主な施策

～都市づくり・地域経済活性化②～

幕張新都心の整備

- 幕張新都心拡大地区新駅設置(予算額 3億5,900万円)
幕張新都心の都市機能の強化と交通機能の分散化を図るため、新駅整備を促進
(2021年度:詳細設計、工事等、2023年春:開業予定)
- 【新規】JR海浜幕張駅改札口新設(予算額 3,700万円)
海浜幕張駅の改札口を新設するとともに、バス停留所等を整備(2021年度:設計)

都市の魅力・活力づくり

- (仮称)千葉公園ドーム整備・250競輪開催(予算額 3,700万円)
民間活力を導入した国際規格の自転車競技の走路を有する多目的
スポーツ施設を整備するため、現競輪場施設を除却(2021年10月～ 250競輪開催)
- 稲毛海浜公園のリニューアル(予算額 8億800万円)
民間活力を導入し、海辺を活かした稲毛海浜公園施設のリニューアルを推進
(2021年度:海へ延びるウッドデッキ整備、ビーチ整備)
- 特別史跡加曾利貝塚史跡等の整備(予算額 2億2,600万円)
来場者の利便性向上のための施設整備や、博物館の移転・撤去に
向けた取組みを推進(2021年度:便益施設新築工事、新博物館整備・運営手法等検討調査等)



2021年度当初予算の主な施策

～都市づくり・地域経済活性化③～

中小企業支援

- 【新規】事業活動変革促進(予算額 500万円)
- 【新規】ICT活用変革促進(予算額 2,200万円)
コロナ禍を契機とした市内中小企業の事業変革、ICT化の取組みを支援
- 【新規】運送業就労支援(予算額 800万円)
人手不足が生じている運送業への転職を促進するため、運転免許の取得費用を助成するとともに、運転体験会と市内企業とのマッチングを実施

観光振興

- 【新規】観光情報拡充(予算額 600万円)
民間WEBサイトを活用し、公共施設等の観光情報発信力強化に向けた取組みを実施
- 【新規】観光コンテンツ造成(予算額 600万円)
市内3つの観光エリア(ブルーエリア・都心部エリア・グリーンエリア)の連携体制構築と観光コンテンツ充実に向けた取組みを実施
(来訪者の行動データの収集・分析等)

2021年度当初予算の主な施策

～市民生活・環境対策・生涯学習～

市民生活

- 【新規】おくやみコーナー設置(予算額 500万円)
死亡に伴う各種手続きに要する申請書代行作成等の支援を行うワンストップ窓口を緑区役所にモデル設置(2021年5月～)
- 【新規】迷惑電話等防止機器設置助成(予算額 500万円)
「電話de詐欺」等の消費者被害を未然に防止するため、65歳以上の高齢者世帯に対し、通話録音装置等の設置費用の一部を助成

環境対策

- 【新規】ちばし気候危機行動キャンペーン(予算額 700万円)
市民の気候危機の意識共有と行動変容を促すためのキャンペーンを実施

生涯学習

- 【新規】科学館展示リニューアル(予算額 1億7,400万円)(債務負担行為 1億7,500万円)
展示物の老朽化、陳腐化に対応するため、リニューアルを実施

2021年度当初予算の主な施策

～東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会開催に向けた取組み①～

延期となった東京2020大会開催に向けた大会を成功させるための取組みや、パラ
スポーツの普及に向けた取組みを推進（予算額 5億6,000万円）

大会の成功実現

- 大会の盛り上げ
聖火リレー、PR活動、イベント(大会直前イベント等)
- ボランティア体制の構築
都市ボランティアの育成・運営、チーム千葉ボランティアネットワークの運営
- 多言語対応
救急医療外国人対応サポート

スポーツ文化の普及・発展

- パラスポーツの推進
障害者アスリートによる学校訪問
パラスポーツフェスタちばやオープンボッチャ大会の開催



2021年度当初予算の主な施策

～東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会開催に向けた取組み②～

共生社会の実現

- 障害者のスポーツ参加
ちばしパラスポーツコンシェルジュの運営
パラスポーツ振興補助金
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
パラリンピックの試合観戦
パラスポーツ交流会の開催
- 多様性理解
プロスポーツと連携したLGBT(性的少数者)周知・啓発



市の魅力向上

- 千の葉の芸術祭、チバリアフリーアートプロジェクト

2021年度当初予算の主な施策

～新型コロナウイルス感染症対策①～

感染者等への対応

- 軽症者等の宿泊療養施設の確保(予算額 8億7,500万円)
軽症患者・無症状感染者の療養施設を確保
- 軽症者等の在宅療養支援(予算額 1,500万円)
宿泊療養が困難な場合に行う軽症患者・無症状感染者の在宅療養について、宿泊療養と同様に支援(配食、日用品配送、看護師による健康確認)
- PCR検査体制の確保(予算額 1億9,300万円)
医療機関及び保健所・環境保健研究所での検査実施
- 保健所の体制確保(予算額 6億2,400万円)
引き続き外部委託等を活用し、保健所の体制を確保
(相談対応、検体配送、患者搬送、患者等調査等)



2021年度当初予算の主な施策

～新型コロナウイルス感染症対策②～

感染拡大防止対策

- 【拡充】スクール・サポート・スタッフの配置(予算額 2億5,200万円)〈一部再掲〉
感染症対策などにより増加する教師等の業務を軽減するためのサポートスタッフの配置体制を充実(2020年度:中18人→2021年度:全市立校228人、210人増)
- 社会福祉施設等の感染拡大防止対策(予算額 3億3,000万円)【2月補正対応】
社会福祉施設等に対し、マスクや消毒液等の購入に係る経費を助成するほか、感染症対策を徹底した上での事業継続に必要な研修受講等に係る経費を助成
(対象:保育施設、子どもルーム、アフタースクール、児童養護施設、病児・病後児保育施設等)
- 地域公共交通支援(予算額 3,600万円)
路線バスやタクシー等の公共交通事業者に対し、車内の感染防止対策に要する経費を助成するほか、事業継続に向けた運転手の養成支援を実施

2021年度当初予算の主な施策

～新型コロナウイルス感染症対策③～

「ちばしチェンジ宣言！」に基づく取組

感染症の拡大により、人々の行動が制限される中でも、社会経済活動を維持するための環境整備が必要であり、この危機を、社会を変えるチャンスとするため、2020年3月に「ちばしチェンジ宣言！」を発出。宣言に基づき、市民、企業、市役所などあらゆる方々が、日々の活動をより柔軟で効率的な方向にともに変革していくための取組みを実施。

○【新規】コード決済導入(予算額 3,500万円)

市税・保険料等納付書のバーコードをスマホアプリで読み取り、コード決済を可能とするシステムを整備

(対象料金:市税、国民健康保険料、介護保険料、保育料等、自転車整理手数料、運用開始:2021年度)

○【拡充】粗大ごみ処理手数料支払のオンライン化(予算額 900万円)

粗大ごみ処分に係るインターネット申込みの支払方法に、電子決済を導入し、一連の手続きをオンライン化(運用開始:2021年6月～)

○【新規】電子書籍整備(予算額 300万円)

来館せず本の貸出、返却が可能となる電子書籍を導入(稼働予定時期 2021年7月)

2021年度当初予算の主な施策

～新型コロナウイルス感染症対策④～

経済の回復

- 【新規】事業活動変革促進(予算額 500万円)〈再掲〉
- 【新規】ICT活用変革促進(予算額 2,200万円)〈再掲〉
コロナ禍を契機とした市内中小企業の事業変革、ICT化の取組みを支援
- 【新規】運送業就労支援(予算額 800万円)〈再掲〉
人手不足が生じている運送業への転職を促進するため、運転免許の取得費用を助成するとともに、運転体験会と市内企業とのマッチングを実施

市民生活の支援

- 【拡充】生活困窮者自立相談支援(予算額 3,000万円)〈一部再掲〉
生活困窮者の自立、就労等を支援する「生活自立・仕事相談センター」を開設
(2020年度:中央区、花見川区、稲毛区、若葉区→2021年度:新たに緑区に開設)
- 夜間・休日心のケア相談(予算額 4,800万円)
感染症の影響による心のケアに関する相談に対応するため、夜間休日の電話・SNSによる相談体制を確保

2021年度当初予算の主な施策

～新型コロナウイルス感染症対策⑤～

市民生活の支援（続き）

○妊産婦総合対策（予算額 4,000万円）

- ・出産前新型コロナウイルス検査費用助成
本人の希望により出産前にPCR検査等を受ける場合の検査費用を助成
- ・寄り添い型支援
感染した妊産婦に対し、退院後に助産師や保健師による相談支援を実施

○在宅高齢者・障害者へのサービス継続支援（予算額 2,400万円）

- ・在宅サービス継続支援
濃厚接触者となった高齢者・障害者への在宅サービス継続を支援するため、事業所等に対し、支援金を支給
- ・介護保険の支給限度額等を超えたサービス提供への支援
家族介助者の感染等に伴い濃厚接触者となった高齢者が、支給限度額内のサービスだけでは生活が維持できない場合の自己負担相当額を支給



2021年度補正予算の主な施策

「準骨格予算」として編成した当初予算に加えて、以下の経費について、就任後初の補正予算を追加（2021年3月～6月）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応経費
- ・当初予算では計上を留保していた政策的判断を要する施策など

新型コロナウイルス感染症対策

- 子育て世帯生活支援特別給付金（予算額 13億2,700万円）
低所得の子育て世帯の生活を支援するため、特別給付金を支給（支給額 5万円/児童）
- 高齢者施設等PCR検査（予算額 8億5,000万円）
感染リスクが高い高齢者施設や接待を伴う飲食店における感染拡大を防止するため、従事者等に対するPCR検査等を継続して実施
- 中小企業者一時支援金（予算額 2億5,000万円）
売上減少が生じた中小企業者等の支援のため、一時支援金を支給（15万円/者）
- 新型コロナウイルスワクチン接種（予算額 50億3,000万円）
先行して接種を進めている医療従事者、高齢者分に加え、その他の12歳以上の者へのワクチン接種経費を追加

2021年度補正予算の主な施策

子育て・教育

- 第3子以降の学校給食費無償化(予算額 1億6,300万円)
子育ての経済的負担が大きい多子世帯の負担軽減を図るため、第3子以降の学校給食費を無償化(2022年1月～)
- フリースクール活動促進(予算額 500万円)
フリースクール等に対して学習支援等に必要な経費を助成(補助額 50万円/施設)
- 民間保育施設等紙おむつ処理費助成(予算額 1,000万円)
保護者及び施設の負担軽減のため、民間保育施設等に対し、使用済み紙おむつの処理費用等に要する経費を助成(補助額 275円/人・月)

市民生活の支援

- ひとづくり応援講座等利用促進(予算額 9億8,000万円)
文化・教養・資格取得・スポーツ等各講座の学びの機会回復に向け、習いごと事業者に対し、受講料の50%割引相当額を助成
- 女性のためのつながりサポート(予算額 1,500万円)
新型コロナウイルスの影響で不安を抱える女性に対し、アウトリーチ型支援や居場所の提供などの支援を実施

2021年度補正予算の主な施策

市民生活の支援（続き）

○がん患者支援(予算額 700万円)

・医療用ウィッグ購入費助成

がん患者の治療に伴う外見の変化への不安を和らげる一助として、医療用ウィッグの購入に係る経費を助成(補助率 1/2、補助上限額 3万円)

・若年がん患者在宅療養生活支援

ターミナル期の在宅療養を希望する40歳未満のがん患者に対し、訪問介護サービス料、福祉用具購入費用等を助成(補助率 9/10、補助上限額 5万4,000円/月)

○自治体マイナポイントモデル事業(予算額 2,000万円)

実証実験中の地域ポイント制度「ちばシティポイント」について、国のモデル事業を活用し、ポイントの上乗せを試行的に実施

雇用対策

○就職氷河期世代就労支援(予算額 1,500万円)

就職氷河期世代の雇用の促進のため、企業と求職者のミスマッチ解消に向けたインターンシップ(職場体験)などの就労支援を実施

2021年度補正予算の主な施策

農業振興

- 農政センターリニューアルプラン策定等(予算額 1,500万円)
本市農業の拠点となる農政センターの機能強化を図るため、リニューアルを推進
- 先進農業者就労支援プログラム(予算額 600万円)
市内就農を目指す40代以下の者を対象に、実習・経営講座等を実施
- 農業法人参入促進
 - ・農業法人グループ参入促進支援(予算額 100万円)
新たに加工業者等と連携して参入する農業法人に対し、農地確保に係る経費を助成
 - ・耕作放棄地活用検証事業(予算額 300万円)
農業法人の参入促進策として検証するため、耕作放棄地を所有する地権者に対し、農地を再生する費用を助成

財源の確保

- ふるさと納税の受入れ体制等拡充(予算額 8,000万円)
本市への寄附の関心を高めるため、ふるさと納税の返礼品等の見直しを実施

ワクチン接種の状況

千葉市では、千葉市医師会の御協力により、かかりつけ医など身近な医療機関で接種を行う「個別接種」を中心に行い、補完的に市の公共施設等において「集団接種」を実施する体制で接種を進めています。(2021年8月18日現在)

1 市内の個別接種医療機関の数
338か所

2 集団接種会場（1日の接種可能人数）

千葉市：千葉中央コミュニティセンター（日曜日 1日当たり640人）

花見川保健福祉センター（土曜日・日曜日 1日当たり320人）

イコアス千城台（金曜日～日曜日 1日当たり800人）

国：自衛隊東京大規模接種センター（10,000人）他大阪に1カ所

3 市内の1週間当たりの接種人数（実績）
約51,000人（集団接種分も含む）

4 ワクチン接種率

千葉市：87.94%（高齢者1回目） 84.47%（高齢者2回目）

36.83%（全年代1回目） 29.03%（全年代2回目）

千葉県：88.74%（高齢者1回目） 85.02%（高齢者2回目）

全国：88.66%（高齢者1回目） 85.09%（高齢者2回目）



主な財政指標

主要債務総額の見込み

○第3期財政健全化プラン(2018~2021年度)の目標範囲内(2021年度度までに4,800億円程度まで削減)に収まる見込み

【主要債務総額とは】

市の財政に大きな影響を与える4つの債務

・建設事業債等残高(普通会計)、債務負担行為支出予定額(普通会計・建設事業分)、基金借入金残高、国民健康保険事業累積赤字額

【主要債務総額の見込み】

単位:億円

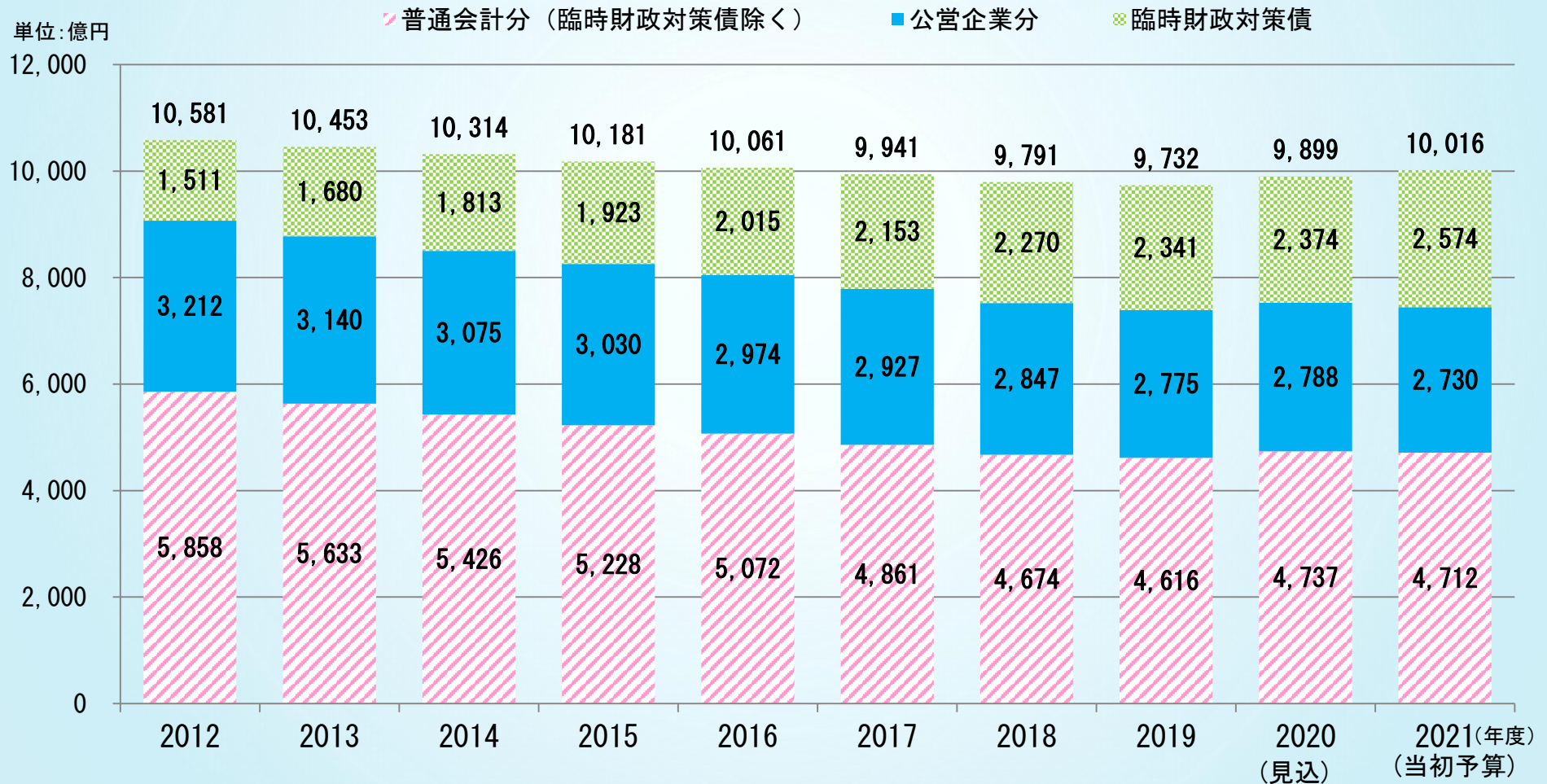


主な財政指標

全会計市債残高の見込み

○新庁舎や新清掃工場の整備が本格化するほか、新型コロナウイルス感染症の影響による税収減に伴い、臨時財政対策債が増となるため、増加する見込み

【全会計市債残高の見込み】



主な財政指標

財政調整基金残高の見込み

○新型コロナウイルスの影響による大幅な税収減が見込まれる中、今後の感染症への対策等を見据え、一定の残高を確保。

【財政調整基金残高の見込み】

当初予算時点 7,775

注) 2020年度決算剰余金に係る積立見込額は未反映

単位:百万円

